

「福ちゃん島ちゃんの夢の大作戦」

賛助会員 **¥3,000** 募集のお願い。

こんにちは、NPO理事長の小野隆です。私は山梨県南アルプス市にある果樹農家の7代目で、信州大学農学部大学院を卒業後就農、2haの畑でさくらんぼ・すもも・桃・ぶどう他を栽培しています。NPO設立後はグリーンツーリズムや果実の加工など農業の6次産業化に向けて活動してきました。そして今、私たちは福島復興支援の一環として、飯舘村生まれの黒毛和牛「福ちゃん島ちゃん」を飼育しています。



■「なぜ私が？」その想いと行動■

先祖代々手をかけてきた土地が使い物にならなくなった百姓の気持ちは、自分に置き換えれば痛いほど胸に刺さります。私の妻が長崎市の出身であり、放射能によってうけた被害や苦しみについて少しでも関心と知識を持っていた事もあったかもしれません。原発事故直後から、知り合いの飯舘村の肥育農家に連絡をとり、飯舘村が一つになって育て上げてきた村の誇り、純血の黒毛和牛「飯舘牛」を一刻も早く移送させるよう行動を起こし、2頭を買いました。今現在その2頭「福ちゃん島ちゃん」は、計測可能な範囲での内部被曝もなく（直後からのガイガーカウンターによる糞尿の継続計測による）、NPOスタッフやボランティアの方に見守られながらここ山梨で暮らしており、昨年8月には島ちゃんの2世「愛ちゃん」も誕生しました。今後も、飯舘牛の血統を増やしていく活動を行います。

■「ここにいるよ。」今後の計画と希望■

福島全体に降下した放射性セシウムは3年で当初の半分量になり、200年もたてば今の東京レベルまで落ちていきます。そういう意味で、私は放射性物質とは「時間を奪う物質」だととらえています。現在の飯舘村はその失った時間を取り戻すために、除染活動やセシウム吸着物質の散布等様々な取り組みを行い、少しでも早く元の生活に戻れるよう必死に活動しています。今の飯舘村が失った時間を、「ヒトの知恵で」取り戻す間、南アルプスでは「自然の時間」を使い、あの事故の恐怖を飯舘村で人間と共有した「飯舘牛」の血統を育みます。



「ここにいるよ。」飯舘村から村人が各地に散りながらコミュニティを維持するように、この牛も今はここにあります。将来村人が飯舘の地で畜産を始める時、私たちは喜んで、この血統の子供を飯舘の地にお返ししたいと思います。

<これまでのNPO法人の活動と実績>

- 2005 NPO法人設立、地域の農産加工施設を使いジャム加工開始
- 2006 南アルプス市商工会と完熟フルーツプロジェクト開始、ピューレ製造開始
- 2008 完熟フルーツプロジェクト、経済産業省「農商工連携 88選」に選定
- 2009 「完熟フルーツこだわり探訪」、JRびゅうの商品として販売開始
- 2010 食育ツーリズム事業受託、県内各地で山梨食育探検隊開催
- 2011 ツーリズム手法による遊休農地解消事業で計10haの遊休農地を活用
- 2011 東日本大震災により、飯舘村の牛を受入れ。茨城の津波被害を受けた農業者受入れ
- 2012 いわきオーガニックプロジェクトに綿の種を提供。ヤギを使った遊休農地事業開始

この試みにご賛同頂ける方の
賛助会員申し込みはこちらです



NPO法人のサイトになります
<http://npo-farm.com>

お問い合わせ

NPO法人南アルプスファームフィールドトリップ 〒400-0213 山梨県南アルプス市西野 1202
でんわ 055-282-6267 FAX 055-285-7900 理事長 小野 隆 info@npo-farm.com